

(様式1)

令和4年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 046	提案機関名 公益財団法人 相模湾水産振興事業団
要望問題名 海岸養浜工事が漁場環境や水産資源に及ぼす影響について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 ○ 近年、浸食による砂浜の消失が問題視されており、砂浜海岸浸食対策の一つとして養浜事業が行われている。 ○ しかし、養浜事業を実施した海域において、底質の変化、漁獲量の変動等の事例があり、地元漁業者は、養浜事業が漁場環境や水産資源に影響を及ぼすことを懸念している。 ○ 相模湾の漁場環境や水産資源の保全、回復の取組みの一環として、養浜事業が周辺海域の漁場環境や水産資源に及ぼす影響について把握する必要がある。 ○ そこで、養浜事業を実施している海岸地先において、海底の底質、底棲生物等の状況について中～長期にわたる調査を要望する。 ○ 令和3年2月に国府津沖においてウニの発生により刺し網漁に影響を与えことにより、漁業者からの調査の要望がある。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。（提案者は記載不要）

回答機関名	水産技術センター	担当部所	相模湾試験場
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 養浜環境影響調査		
対応の内容等	現在、土木事務所からの依頼により、養浜事業が漁場環境に及ぼす影響を解明するために、底質や底生生物等を対象とした調査を継続しています。調査地域は、茅ヶ崎市、平塚市、二宮町、小田原市（国府津地区）です。各地域の調査結果を比較することで、全体的な状況の把握も行いその影響を検討します。 また、小田原市（国府津地区）で大量発生したサンショウウニについては、令和3年度から土木事務所の依頼を受けて、底質や底生生物等の生息環境調査を実施しています。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			